



美しい田園21通信



〒105-0004

東京都港区新橋 5-34-4 農業土木会館

NPO 美しい田園 21

Tel 03-3434-5056 Fax 03-3434-5057

メール npo@denen21.jp

問い合わせや活動報告はこちらへ

ホームページ <http://www.denen21.jp/>

最新情報や田園通信のバックナンバーはこちらから

目次

- | | |
|------------------------------|------|
| 1 坂井北部地区の耕作放棄地解消支援活動 (第 1 回) | 北陸支部 |
| 2 不法投棄撲滅の一斉清掃 (亀田郷地区) | 北陸支部 |
| 3. 能登地区「みどり会」活動報告 | 北陸支部 |

1. 坂井北部地区の耕作放棄地解消支援活動 (第 1 回) 北陸支部

国営坂井北部地区を対象にした本年度第 1 回目の耕作放棄地解消支援活動を 6 月 11 日に行いました。今回の作業内容は、あんのうイモ、紅あずま、金時の 3 種類 300 本のサツマイモ、80 本の落花生、コスモスの植え付け、地元の坂井北部土地改良区であらかじめ植えてあったトウモロコシのマルチ外しと間引きなどです。

作業場所は一昨年から取り組んでいる土地改良区に隣接した農地で、開墾後 3 年目にもなると少しずつ地力がついて随分と畑らしくなりました。

いつもは、NPO のほか土地改良区職員など 25 名ほどで作業を行うのですが、今回は、これに加えて福井県立大学の「里山応援サークル」の女学生、近隣の芦原幼稚園の 5 歳児 25 名など、総勢 60 人ほどの大部隊での作業となりました。

サツマイモの植え付けは主に幼稚園児にまかせることにし、大人は一人ずつ園児に張り付けてこれをサポートすることにしました。植える際、園児の名前を書いた立札を一緒に立て、秋の収穫時にはこれを目印に自分が植えたイモを掘ってもらうことにしました。参加した園児たちは今から秋が楽しみな様子で、みんな目を輝かせていました。

また、初参加頂いた里山応援サークルは、大学の経済学部の学生を中心に 20 名余りで活動されているようで、今回は数名の女学生が参加されていました。加えて、事業所や調査事務所、土地改良区からも多くの女性職員が参加し、とても華やいだ雰囲気につつまれた作業になりました。



上手に植え付けできるかな？



秋にまちがえないように名札を立てようね！

作業を終えて記念撮影



1



トウモロコシの間引き後、畝を整形

2. 不法投棄撲滅の一斉清掃（亀田郷地区）北陸支部

真夏のような異常な暑さの中でしたが、6月1日（日曜）に亀田郷一斉清掃がありました。

今年からは亀田郷不法投棄対策連絡協議会の会長が五十嵐さんから山我さん（水土里ネット亀田郷理事長）に替わり、初めての挨拶を受けました。

今回で12回目となりましたが、昨年のゴミ選別は不燃ゴミと一般ゴミとを分別していなかったため今年からは分別をお願いしたい。清掃は別会場でも行っているが新潟に来られた人からは新潟市はゴミの無い綺麗な街であると知っていただきたい。7月27日は信濃川クリーン作戦があり、ゴミがあると真似をして不法投棄が増えるが綺麗にしてあげれば不法投棄はないので綺麗にしておきたい。」と挨拶がありました。

続いて副会長の新潟市環境部長より「新潟市の不法投棄はゴミ清掃活動やパトロール等により年々少なくなっていますが高速道路脇や水路等に心ない投棄が見受けられる。昨年新潟市は「環境モデル都市」の指定を受け、遠くから来た人にさすがゴミもないモデル都市だと言ってほしい。これからは環境美化活動に参加を呼び掛けてほしい。多くの人に参加しわが故郷、わが街をきれいにして全国に誇れる気持ちを持ってほしい。昨年、これら市内の美化活動に13万人が参加され「継続は力なり」で、一定の成果が出ている。」と挨拶がありました。また副会長の東日本道路からは「梅雨前の一大会事で今回は1,300名が参加している。常習的な不法投棄が後を絶たないが綺麗にすることは一人ひとりの心を綺麗にすることである。大切な環境への意識を高め地域との絆を高めよう。」と挨拶がありました。

その後、彦三会と田園21会員は親松導水路の左岸側を、信濃川水系調査管理事務所は右岸側の清掃に取り掛かりました。法面は草が伸び、ゴミを見つけるのに苦労しましたが無事時間内に終了することが出来ました。



開会式

NPO と彦三会参加者

3. 能登地区「みどり会」活動報告 北陸支部

7月12日（土）、国営能登中央地区で開拓された農地を利用して設けられた体験農園「四季の丘」で、「能登地区みどり会」による今年度の除草活動が行われました。今年にはこれに加えて国営珠洲第2地区で設置された「寺家ダム」周辺の除草も併せて行われました。

みどり会は、かつて数多くの国営開拓事業が実施された石川県能登半島地域を対象とする営農支援グループで平成11年に開始以来今年で16回を数えます。

四季の丘は能登半島のほぼ中央部に位置する穴水町にあり、体験農園入口に設けられた公園の周辺と、農園に隣接する農道、営農ハウス周辺の除草を行いました。四季の丘では、周辺の畑で栽培されるブドウを使ったワイン工場が隣接されており、ワイン販売やハウストマト、メロン栽培などで多くの観光客を集めています。当日も観光バスなどで多くの観光客がワイン等を買って来ていました。

この日は台風一過のさわやかな青空の下、適度な風が吹く中での作業で、気持ちの良い汗をかくことが出来ました。参加者は毎年この日を楽しみにしているようで、休憩時には冷たいスイカを食べつつ現下の話題や昔の話で大いに盛り上がり、お互いに楽しく充実した一時を過ごすことができました。除草活動には総勢35名が参加し、このうちNPO美しい田園21から参加した会員は11名でした。そして、能登半島先端部にある「寺家ダム」周辺の除草には、ダムの地元に近い5名を振り分けて作業が行われました。作業は2時間ほどで終わり、来年の再会を楽しみにして帰路につきました。



「四季の丘」塔の前で記念撮影

大勢でやれば作業も進みます

スイカを食べて元気を回復

